



11号

平成28年3月1日発行

雲南地区保護司会
 (事務局:雲南市三刀屋町三刀屋199)
 <TEL・FAX(0854)45-5850>
 題字揮毫:渡部 幸子
 印刷:松栄印刷有限会社



居場所と出番の取組状況

松江保護観察所長 國 府 実

雲南地区保護司会の皆様には、昼夜を問わず更生保護事業の推進に格別の御支援・御協力を賜りまして、心より厚く御礼を申し上げます。

現在、政府は「世界一安全な国、日本」の実現に向け全力で取り組んでいるところで、更生保護におきましても官民が協働して、保護観察対象者等の改善更生と再犯防止に力を尽くし、犯罪被害に遭う人が減少するよう取り組んでいます。

安全で安心して暮らしていける社会を作るためには、犯罪や非行をした人を社会から排除し、孤立させるのではなく、責任ある社会の一員として再び受け入れることが自然にできる社会を作っていくことも大切です。

平成二十六年十二月の犯罪対策閣僚会議では「宣言・犯罪に戻さない・戻らない」が決定され、次の二点について、平成三十二年までに達成するよう数値目標が設定されました。

一点目は「犯罪の防止につながる仕事の確保」です。刑務所出所者等の事情を理解した上で雇用している協力雇用主の数を二〇二〇年までに三倍にするとされました。平成二十六年四月の四七二社を基準とし、一年六

カ月後の平成二十七年十月時点では七四九社と一・五倍に増加しています。

二点目は「再犯防止につながる社会での居場所の確保」で、帰るべき場所がないままに社会に戻る受刑者の数を三割以上減少させると設定されました。更生保護施設や社会福祉施設等につなげる取組を強化した結果、平成二十五年の約六、三〇〇人から平成二十七年には約五、二〇〇人と二割近く減少(千人以上減少)する見込みです。今後とも、保護司の皆様の御協力を賜りながら、実効ある保護観察の実施と社会を明るくする運動をはじめ啓発・広報活動に力を入れ、地域にお住まいの皆様方に、更生保護へのさらなる御理解と御支援が得られるように努めて参ります。

新しい年を迎え、雲南地区保護司会の皆様には御健勝で、ますます御活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

表紙の写真

「飯南町赤名・瀬戸山城跡」

瀬戸山城は中世から近世の山城で、出雲・石見・備後の国境に位置し、江戸時代初頭には三層から成る天守閣を構えていました。

受賞おめでとうございませす

法務大臣表彰



地域ぐるみで明るい社会を

雲南市吉田町 小田 芳枝

平成二十七年鳥根県更生保護事業関係者顕彰式典の席上におきまして、身に余る表彰の栄に浴しましたことは、誠に光栄の至りでございます。これも、ひとえに地域の方々のおかげと深く感謝しています。

私は、地域でのいろいろな活動が、明るい社会づくりに役立つと確信しています。私の地域の一コマを紹介させて頂きます。結成十三年目の「深野神楽こども教室」の扉をあけました。少子化で継承が難しくなっていますが、七人の小学生の支援に、教室の先輩中学生がかけつけて、奏楽や剣のさばき方等をマンツーマンで教えています。本当に心温まる光景です。また、この教室では、あいさつ等のふるまい向上を目指しています。私は、このような地域の活動が、とても大切だと思っています。微力ながら、これからも、いろいろな活動に力を注いでいこうと思います。



顕彰式典で受賞者を代表して謝辞を述べる小田芳枝さん

平成27年度更生保護事業関係者顕彰

(敬称略)

表彰種別	被表彰者氏名		
法務大臣表彰	小田 芳枝		
全国保護司連盟理事長表彰	山中 洋美		
鳥根県知事表彰	板垣 秀和	坂本 暢子	
中国地方更生保護委員会委員長表彰	門脇 勝	石川 隆	藤原 静雄
中国地方保護司連盟会会長表彰	高橋 浩文	岩田 桂子	山本 勝昭
松江保護観察所長表彰	川本 晃代	陶山 隆樹	松村 千弘
	楠 京子	佐藤 幸男	石飛由美子
鳥根県保護司連合会会長表彰	永田 一博	若月 薫	

※県知事表彰は、県庁主催にて11月26日(木)ホテル穴道湖にて授与されました。



第65回社会を明るくする運動

作文コンテスト 島根県最優秀作品

社会を明るくするキーワード

雲南市立大東小学校

六年 渡部 陽向 ひなた

小学生の部

「犯罪は、悪いことだ。」そんなことはだれでも知っています。でも「罪を犯した人の気持ちを考えてみよう。」と思う人はそう多く

はないようです。ぼくは、友達との話し合いの中で、ある考えを深めることができました。

ぼくたちは、国語の授業で初めて投書を書く学習をしました。テーマは「平和」でした。まだ平和学習も始まっていないし、戦争についてもあまり知らなかったぼくは、少し困ってしまいました。だから「平和」を求めるために考えなければならぬことは何かを探してみました。すると「犯罪」という言葉がうかびました。毎日のように新聞やニュースで様々な犯罪を目にするからです。

友達の中にもぼくと同じように、犯罪について投書を書いている人が何人かいました。投書を書いた後、同じ内容の友達とグループになって、話し合いをするようになりました。

友達から聞いた話によると、現代の日本では老若男女を問わず、すべての人に対する犯罪があり、すべての人が犯罪者になりうるそうです。百六十万件を超える犯罪が起こっていますが、それでも十年前と比べると約二分の一に減っているのだそうです。その事実を聞いて、ぼくはおどろきました。さらに友達は、

「今の日本人にとって、平和という言葉より犯罪という言葉の方が、身近に感じていると思う。」

とも言いました。続けて

「罪を犯す人にもそれぞれ理由があるかもしれないが、悪いことをした以上やっぱりゆるしてはいけませんよ。」

とこわい顔をしてぼくにいったのです。

ぼくはその時、自分の考えを勇気を出して言ってみました。「なぜいけないとわかっていのに悪いことをしてしまうのか考えた方がいい。犯罪をしてしまったことは悪いことだけど、

その人の気持ちも考えようとする態度をもつべきだ。」というのが、ぼくの意見でした。例として、ぼくは、新聞で読んだある事件について話しました。その事件では、ずっと暴力をふるわれ続けた人が、たえ切れなくなって相手を殺してしまった事件でした。殺してしまったことは、当然いけないことです。でも、毎日暴力をふるわれた人は、どんな気持ちで毎日を過ごしていたのでしょうか。だれかその人の気持ちがいつぱいになる前に話を聞いてあげることができなかったのでしょうか。話を聞いて、気持ちに寄りそってあげることができれば、犯罪も起こらなかつたかもしれません。両方とも幸せに暮らせたのかもしれませんが、ぼくは、どうしてもそう考えずにはいられなかつたのです。

友達は、僕の話だまって聞いてくれました。それから

「じゃあ、犯罪をした人の気持ちを考えてゆるしてあげましょうと、傷つけられた人の家族も思えるのかな。」

とぼくに聞いてきました。確かに、ぼくも家族が傷つけられた立場なら、そう簡単にゆるすことはできないかもしれません。友達の言葉を聞いてぼくは、はっとしました。起こってからでは遅いのです。悲しみも、にくしみも、許すこ

中学生の部

かけがえのない命

とも、分かりあうことも、起こってからでは遅すぎる。大切なのは、そうなる前に、犯罪をしてしまう人の気持ちを少しずつ聞いてあげたり、理解してあげたり、解決に向けて力になってあげることなのです。その話を聞いた友達は、「ああ、なるほど。そういうことか。」と目を大きく開いて言ってくれました。

ほくは、この話し合いで二つのことを学びま

した。一つ目は、やはり「どんな人に対してその人の気持ちを考えることが大切」ということです。その人が自分の気持ちをコントロールできなくなる前に、できることは必ずあるはずです。無関心にならず相手の気持ちを考えられる人間になりたいです。二つ目は「違う考えを、勇気を持って伝えること、優しさをもって受け入れることが大切。」ということ。話し合いの

とき、友達は考えの違うほくの意見を一生懸命に聞いてくれて納得してくれました。しかも、それに対する考えも言ってくれたのです。人と違うことを伝えるのは、勇気がいります。でも、伝えて初めて自分の考えが分かってもらえて、さらに新しい発見さえさせてくれるのです。「思いやり」と「勇気」が社会を明るくするキーワードだとほくは思います。

雲南市立掛合中学校

二年 影山月南るな

今年の二月、川崎市の中学一年生が河川敷で殺害されたのは、まだ耳に新しい。

「チクられたからやった」Ⅱ「殺害した」というあまりの惨殺な事件。犯人の動機にとても信じられない思いだった。人の命って、こうも簡単に消えてしまうのかと虚しさが込みあげてくる。皆一人ひとりどうやってここまで生きてこれたか、分かるだろうか。私達の命は両親が大切に育ててあげてきたたった一つの宝物であるということをおぼえていないだろうか。亡くなった中学一年生の母親は悔やんでも悔やみきれない深い悲しきで打ちひしがれていると思う。

『もう…あの子は戻ってこない…。もう…あの子に会えない…。』と。

私には、母が生死をかけて授けくれた特に大

切な命を与えられました。母は高校生の時から、再生不良性貧血の難病をかかえ主治医に、「あなたは子供を生むことができません。」

と言われていました。自分一人の体を維持するのが精一杯であるのに、母は私がおなかにできるとき、医者判断を押し切って「生む。」と決断してくれました。もちろん、出産前後での輸血、大量出血を覚悟の上です。命の保証などありません。母にとって、私の命が何よりもかけがえのない大切な存在でした。母の熱意に医者も真剣に向きあってくれました。

そして、四月十八日危険がさまっているため、予定日より一ヶ月早めの出産。これには多数の医療チームを組み、大量の輸血を確保し、集中治療室で私の出産をサポートしてくださったそうです。

私は、自分の母が命をかけてくれたことに本

当に感謝しています。自分が無事に生まれていなかったら、この世の中のこと知らず、幸せを感じることもなく、真暗な世界で静かに息をひきとっていたでしょう。

命の大切さを教えてくれた母でも一つ今でも後悔していることがあるそうです。私には今弟がいますが、本当はもう一人生きていければ小学五年生の子がいたそうです。母は産むつもりで、名前まで決めていました。しかし、さすがにこの時は母の病気の状態が悪く、医者に厳しく止められて、泣く泣くあきらめたそうです。

私はそれを教えてもらった時「産めばよかったのに。」

という何言ないことを言ってしまった。その時、母は真剣な表情で

「じゃあ、その子とお母さんどっちがいいの。」と言いました。母の生みたくても生めない悔しさ、大切な命を失った悲しみが伝わってきました。母が死ぬってどういことだろう、とすごく悲しくなり泣いてしまいました。

今思うと、真ん中の子は、私と弟が無事に生まれてくるために犠牲になってくれた命の恩人

協力雇用主を募っています

協力雇用主さんは犯罪や非行をした人たちが、地域へ戻ってきたときに再犯や再非行を起こさないよう就労の場を提供していただく方です。

明るくて健全な地域を維持していくためにとても大切な役割を担ってもらっています。事業主の皆様の一層のご協力をお願いします。

雲南地区更生保護協力雇用主会の皆様 (平成28年1月現在)

区域	代表者	事業所名
加茂	高橋日出男(会長)	(株)出雲たかはし
三刀屋	都間 正隆(副会長)	(株)都間土建
仁多	福間 久八(理事)	(有)福間工務店
横田	藤原 一利(理事)	コスモ 21(有)
大東	佐々木貞治(理事)	(有)大東自動車整備工場
木次	出川 清一(理事)	(有)出川工務店
掛合	高瀬 一明(理事)	島根イーグル(株)
吉田	杉原 忠行(理事)	食の幸ふる里屋
頓原	伊藤 隆(理事)	(有)一福奥出雲手打ちそば
赤来	森島 功武(理事)	森島建設(株)
加茂	坂本 宏允	アルプロン製菓(株)
大東	恩田 肇	(有)オングクリーニング
大東	植田 耕志	(株)植田建設
木次	周藤 茂雄	(有)周藤土木
横田	島 啓司	(有)しまネット(一風庵)
仁多	佐藤 和彦	(株)佐藤工務所
仁多	伊藤日出男	(有)伊藤土建
仁多	川角 邦生	(有)川角工務店
仁多	糸賀 寿夫	(有)糸賀工務店
仁多	内田 俊雄	(株)内田工務店
仁多	勝山 正	(有)勝山建設
仁多	藤井 裕久	(有)サンコー
掛合	中澤 豊和	(株)中澤建設
掛合	香川 昇司	(有)香川建設

だと思っています。この世には生まれてこれなかったけれど、私にとって、家族にとってすごく大切な存在です。母と私は今でもその子のために毎年水子供養の寺にお参りしています。時折母に、「病気で、いつ死ぬかわからないから、自分のことは自分でいつでもできるようにしておかなきゃダメだよ。」と言われていました。普段あたり前のように母に掃除、洗濯をしてもらい、食事を作ってもらっていました。私は、大切な家族のために毎日仕

事と家事をしんどくても両立させる母をもう少し手伝って楽にさせてあげたいと思いました。命は本当に大切でかけがえのない尊いものです。一度死んだら二度と戻ってきません。でも、毎日のように様々な殺人や自殺が後を絶えません。なぜ人は簡単に命を捨てたりできるのでしょうか？ 殺さなくてすむ方法を考えればいいのに、他人までまきこまないでほしいと私は思います。私は、そういった殺人や自殺をしてしまった人達に、それぞれの命が両親のどんな思いで育て

「立ち直り」を支える地域のチカラ

更生保護



Q 「更生保護」ってなんだろう？

A 罪を犯した人も、裁判を終え、処分を受ければ、いずれ社会に戻ってきます。更生保護は、罪を償い、再発しようとする人たちの立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。

Q 「保護司」ってどんな人？

A 地域で更生保護の活動を担う民間のボランティアです。刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援をしています。犯罪をした人の多くは、生活や精神面で様々な困難を抱えているため、地域の教育、福祉、仕事等に関わる人たちと協力しながら活動しています。

雲南地域の応募数

小学校	七校	作品	三十七点
中学校	七校	作品	十点
内小学生の部、中学生の部ともに最優秀賞		一点、優秀賞	一点が受賞しました。

あげてきたのか気付いてほしいです。そして、一人ひとりが与えられたかけがえのない命を大切にし、自分にしかできない輝きで満たすことができれば素晴らしいと思います。

社会貢献活動について



これは保護観察対象者に原則として1日2～5時間、5日間実施されるものです。

平成27年6月から本格的に行われていて、本人の意志に関わりなく更生に向けた教育活動として必ず実施することとされています。

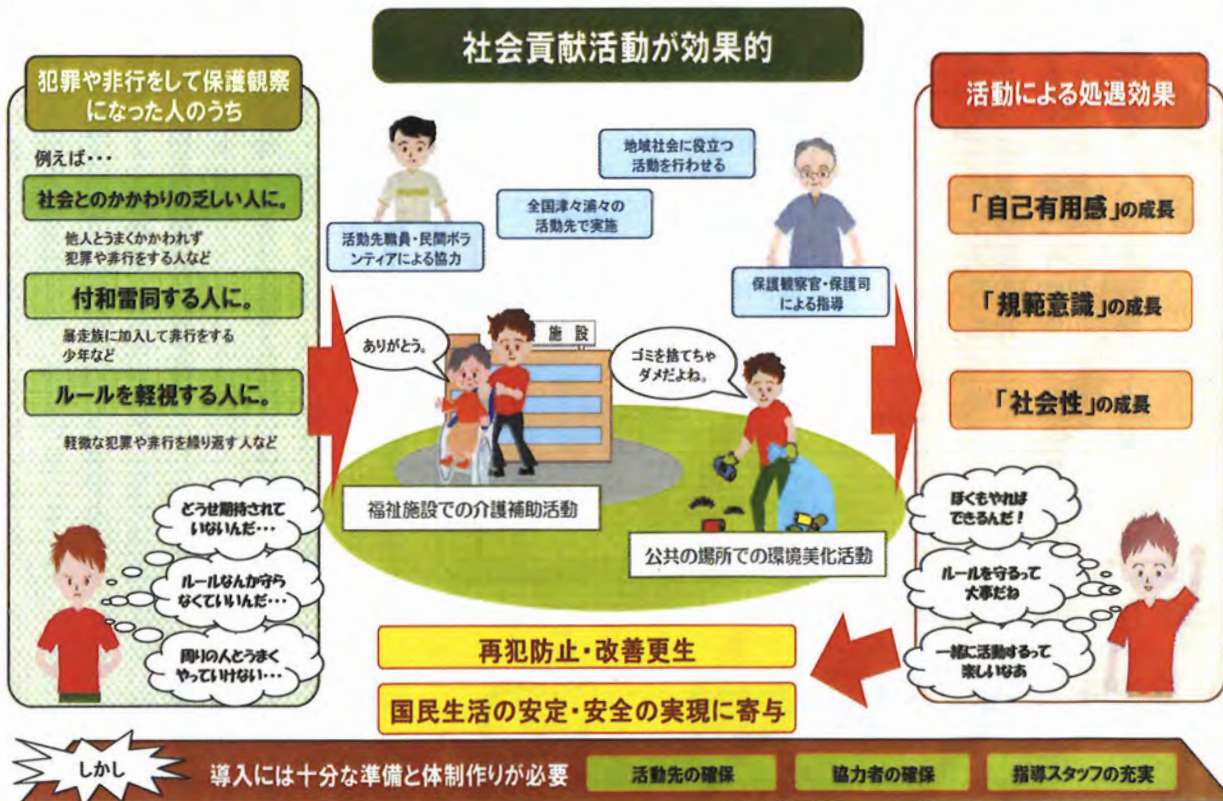
この活動を通して人間関係を育み、自己肯定

感を促しさらに信頼関係を築いていくことを目的としています。

保護観察官や社会貢献活動担当保護司、対象者の担当保護司、更生保護女性会の方などの協力を得ながら、一緒に公的な施設で活動するものです。

社会貢献活動の実施体制の整備

! Point 犯罪や非行をした保護観察対象者に**社会貢献活動**を行わせ、**自己有用感**、**規範意識**、**社会性**の成長を促すことにより、**改善更生・再犯防止**を図る。(社会貢献活動による立ち直りの促進)



平成27年度島根県保護観察協会会員の皆様へ お礼

平成27年7月から11月まで行いました島根県保護観察協会会員募集に際しましてご協力いただきました皆様へ心よりお礼申し上げます。

お陰さまで雲南市、奥出雲町、飯南町合わせ

て999名の個人、団体から会費を寄せていただき合計金額は231万円でした。

この浄財は更生保護活動の充実のために活用させていただきます。ありがとうございました。来年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

平成二十七年 雲南地区 保護司会活動報告

総会や研修会、「社会を明るくする運動」は例年どおり行ってきています。二十七年八月には雲南市立加茂中学校三年生を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。保護司二名が講師となって説明しました。この授業を受けた生徒さん達は、

①薬物は一回でも使用するとやめられなくなり、脳や身体をこわしてしまうこと。

②薬物は「バスソルト」「アロマオイル」などと名前を変えて売られており、注意が必要だ。

③DVDを見たり、話を聞いて薬物の恐ろしさがよくわかった。などと感想を書いていました。



雲南市立加茂中学校3年生の「薬物乱用防止教室」授業風景

また十一月には兵庫県加古川市にある「播磨社会復帰促進センター」へ視察研修に行きました。職員さんの説明のあと実際に施設内を視察させていただきました。矯正施設は研修で何度か訪れていますが、その厳しさを改めて知ったと思います。ところで今回は大阪府寝屋川市の保護司会の皆様と一緒だった関係で、視察のあと交流会をもちました。寝屋川市は人口が雲南市と比べると格段



寝屋川保護司会の皆さんと共に「播磨社会復帰促進センター」玄関前

に多く、保護観察ケースも年間一〇〇件以上あり、同市のサポートセンターには市の職員さんが二名勤務されているとのことでした。大都会の保護司の方と交流が出来て参考になることが多々ありました。



雲南更生保護サポートセンター



雲南更生保護サポートセンター全景



正面玄関

雲南更生保護サポートセンターは雲南市三刀屋町三刀屋 199 番地にあります。永井隆記念館のとなりです。

更生保護関係でご相談のある方は気軽にお立ち寄りください。

月曜～金曜日の9時～15時まで職員が常駐しています。

TEL・FAX : 0854-45-5850

編集後記

地球規模で頻発する災害や、異常気象。凶悪化する犯罪の多発・・・。

大自然の中のほんの一部分でしかない私たち「人間」が、これから選び、そして進む道は・・・こんな不安な中での年開けでしたが、天皇、皇后陛下のフィリピンご訪問は、とても心暖まるできごとでした。

(山)

- | | |
|----------|------|
| 編集委員長 | 藤原静雄 |
| 編集委員事務局長 | 石川 隆 |
| 編集委員 | 徳江良弘 |
| 板垣秀和 | 山中洋美 |
| 楠 京子 | 岡田礼子 |



人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

雲南更生保護サポートセンター



雲南更生保護サポートセンター全景



正面玄関

雲南更生保護サポートセンターは雲南市三刀屋町三刀屋 199 番地にあります。永井隆記念館のとなりです。

更生保護関係でご相談のある方は気軽にお立ち寄りください。

月曜～金曜日の9時～15時まで職員が常駐しています。

TEL・FAX : 0854-45-5850

編集後記

地球規模で頻発する災害や、異常気象。凶悪化する犯罪の多発……。

大自然の中のはんの一部分でしかない私たち人間が、これから選び、そして進む道は……。こんな不安な中での年開けでしたが、天皇、皇后陛下のフィリピンご訪問は、とても心暖まるできごとでした。

(山)

- | | |
|----------|------|
| 編集委員長 | 藤原静雄 |
| 編集委員事務局長 | 石川 隆 |
| 編集委員 | 徳江良弘 |
| 板垣秀和 | 山中洋美 |
| 楠 京子 | 岡田礼子 |

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

